



ANIMAL REIKI ASSOCIATION
Harmonize the Earth with Animal

助けたい猫に助けられた私

笠原由紀子

私の周りには、たくさんの猫たちがいます。ちー13歳メス、会社の社員猫むーにゃん、そして、地域猫のふくちゃん7歳オス。いずれも訳ありな子達でした。そんな猫たちにアニマルレイキを用いた効果や変化について記録にまとめました。

ふくちゃんは、地域猫ちゃん5、6匹の仲間と一緒に過ごしていましたが、不思議と出会った頃からどこか気になる子でした。

出会いから数年後、ふくちゃんだけが兄弟の中で一匹だけ「好酸球肉芽腫」という病気になり、かゆみから舐めてしまうため皮膚が剥げ、血だらけの痛々しい姿となりました。すぐに捕獲しようとしたのですが、あらゆる手を使っても逃げてしまい捕獲ができません。日にちだけが過ぎ、皮膚の剥げた箇所が増えていき、どうすることも出来ない自分に苛立ちもしました。

そして、いろんな情報を探している中でペットサイン協会のHPにたどり着き受講することに決め、そこでアニマルレイキと出会いました。

アニマルレイキに出会う前に西洋レイキを受講したことがあるのですが、習ってからきちんとできているのかよく解らず、なかなか実践できていませんでした。最初はレイキもアニマルレイキも何がそんなに違うのだろうと半信半疑でしたが、アニマルレイキを実践してみると初めて実感がもてたのです。手に圧迫感のようなものを感じたり、「響き」を感じられました。これはレイキ独特の感覚で体調の良くない所にくると手がピリピリ・ジンジンとしたり、血行の悪さからなのか違和感のある冷たさを感じることもできます。続けていくと「響き」は減少し、消えていくのです。

アニマルレイキをすると何より動物達の態度が違います。あからさまに逃げていた動物が逃げなくなりました。体調の悪い子は、アニマルレイキをやって欲しい箇所を見せてくれさえしました。これらのことからレイキとアニマルレイキの明確な違いを理解できたのです。

そんなアニマルレイキを習う少し前のことですが、ふくちゃんが偶然にも捕獲できました。すぐに治療を行い、退院後には近所の親切なAさんの家の軒下にネコハウスを置いてくださり、ふくちゃんはそこで過ごすこととなったのです。そこへ雨の日も風の日も猛暑の日も毎日通いました。Aさんとともに毎日毎日ふくちゃんの様子を観察しました。

4か月ほど経ち、好酸球肉芽腫の傷もよくなり皮膚の再生がだいぶ進んできた時のことです。食べるのが大好きふくちゃんが、ご飯を食べなくなりました。もともとよくお水を飲む子だったので、おしっここの量も他の猫よりも多いほうではありましたが、その少し前からおしっここの量がすごく増えていたのです。おしっここの量と食欲不振、さらに顔つきも辛そうでだるそうに見えたので病院に行きました。検査の結果、糖尿病と診断されました。糖尿病と診断されたふくちゃんにインスリン治療が始まりました。少しでも良い状態になってもらいたいと思い、毎日ほんの少しの時間ですが、アニマルレイキを行いました。数日間かけて段々とごはんを食べるようになり顔つきも元気になり血糖値の数値も安定し始めました。

すると、20m先からでも私の姿を見つけると走り寄って来てくれたふくちゃんの態



度が急に変わってしまいました。私としては「なんで急によそよそしく他人行儀なの？」とパニック状態です。しかしこのとき、ふくちゃんが一番欲しかったものを手に入れていたのです。「家族」です。

インスリンやご飯その他お世話してくれているAさんが外ではお世話できないのことから家の中でお世話して下さっていたので、ふくちゃんは家の中に入れることになったのです。

Aさんから「ふくはね、昔にゃーと鳴いてドアを開けてもらって当たり前に入っていくうちの猫をいつもうらやましそうにず〜っと見ていたの。でもね、今は同じことを当たり前のようにやっていて、とても嬉しそうなの。それに家の中ではとても甘えっこになるのよ」とお聞きしました。

ふくちゃんは、大変な病気になってしまったけれど願いが叶ったのです。私は家族ではないから態度も変わったのだらうと、納得することにしました。なんといっても命あってのことです。改めて福ちゃんを助けられて本当によかったと思いました。

ふくちゃんは、幸せになったところで私のミッションは終わりましたが、今後たくさん動物達に幸せになってもらえるお手伝いがしたい。それを今後の目標として行こうと思いました。

私が行ったアニマルレイキの効果としては、まず、ふくちゃんの好酸球肉芽腫の傷の治りが早く綺麗になりました。糖尿病に関しては一か月ごとの血糖値検査の結果がみるみる良い数値になってインスリン単位も徐々に減り、激減していた体重も順調に戻っていきました。

会社の社員猫であるむーにゃんは、7つのいぼの除去手術を行いました、こちらも傷跡は綺麗に塞がり早く元の状態に戻りました。

我が家のちーには悪いところはありませんでしたが、家族の中で私だけに噛みつく猫でどうにもコミュニケーションが取れず、だいぶ時間がかかりましたが、大きな変化がありました。以前は、名前を呼んだときにすごく迷惑そうな耳の動きと表情をしていましたが、わかりやすいくらいに変化が見られました。今では掌を出すと頭を入れて甘えてくるようになったのです。

最後にアニマルレイキを学んで私が実践した中で見て感じられた効果についてまとめてみました。

- ① 傷の治りが早くなり糖尿病の数値も安定しました。
- ② 触って様子を見て感じることで不調箇所を早期発見できるようになりました。
- ③ 人と同様動物も体だけでなく心の健康が大切であることがわかりました。
- ④ アニマルレイキは、自分の大切な子達に「今この瞬間」フォーカスするので、例えば何か嫌なことがあっても、すっかり忘れてしまいます。受ける子はもちろん自分にも癒しの時間となりました。
- ⑤ ふくちゃんを助けたくて始めたことですが、結果的にはふくちゃんだけでなく私の周りにいる動物みんなに助けられたのだと気づきました。

まだまだ学ぶことは山ほどあるかと思いますが、動物達とともに楽しみながら自分も動物も癒していこうと思います。

↓ ふくちゃんの変化の写真

① 2015 年 2 月



② 2015 年 10 月



③ 2015 年 12 月

